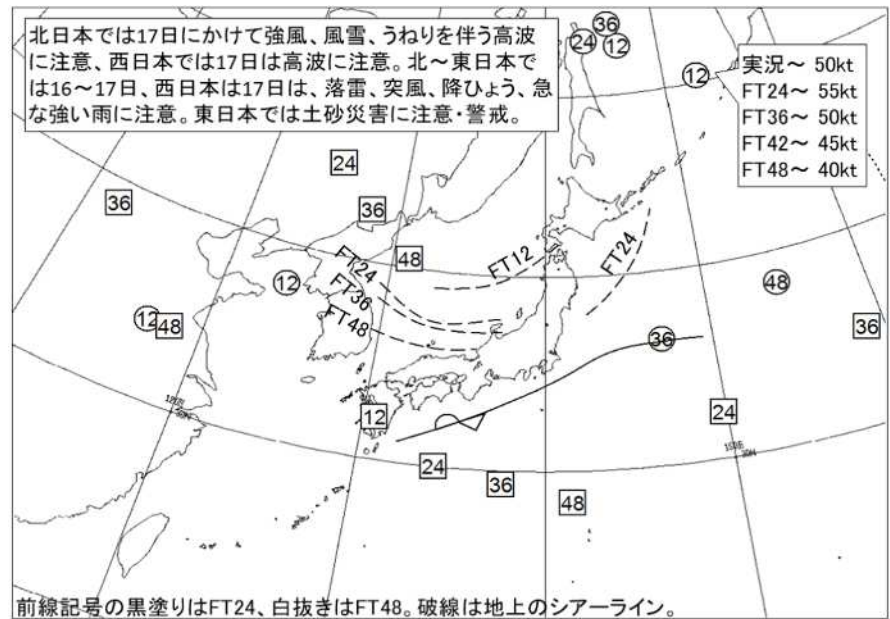


短期予報解説資料 2025年12月16日03時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 千島近海の 500hPa 5220m付近にトラフがあって北東進。対応する低気圧が千島近海にあって北東進。北海道地方では、この低気圧の影響で、強い風が吹いて、海はしけている所があり、東北地方でも波の高い所がある。
- ② 高気圧が東シナ海を東へ移動。
- ③ 朝鮮半島付近には 500hPa -27℃以下のサーマルトラフがあって東南東進。
- ④ アムール川下流域には 500hPa -45℃以下の寒気を伴った寒冷渦があって東南東進。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は千島近海を北東進し、次第に日本から離れるが、この低気圧の影響で大雪となった、北海道地方の積雪の多い傾斜地ではなだれに注意。
- ② 1項④の寒冷渦の周りを回る 500hPa 5100m付近のトラフに対応した低気圧が16日朝までに、オホーツク海で発生し、ゆっくり北上する。この低気圧と2項①の低気圧の影響で、北海道地方では、17日にかけて強い風が吹いて、波が高くしける所があり、東北地方でも強い風が吹いて波の高い所がある。北日本では、17日にかけて強風、風雪、うねりを伴う高波に注意。
- ③ 16日朝には、日本海にシアーラインが顕在化し、16日夜にかけて北日本を通過する。別のシアーラインが16日夜に日本海西部で顕在化し、17日にかけてゆっくり南下する。また、1項③のサーマルトラフが、16日中に北日本～東日本を通過する。これらの2つのシアーラインに向かって下層暖湿気が流入する事や上空の寒気の影響により、大気の状態が不安定となり、雷を伴う雨や降雪となる所がある。北～東日本では16～17日にかけて、西日本では17日は、落雷、突風、降ひょう、急な強い雨に注意。東日本のこれまでの大雨により地盤の緩んでいる所では、土砂災害に注意・警戒。また、日本海西部のシアーライン付近では、やや強い風が吹いて、波の高くなる所がある。西日本の日本海側では高波に注意。
- ④ 17日夜には、500hPa 5580m付近の強風軸に対応して、日本の南で前線が顕在化する。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 降雪量(06時からの24時間)：北海道30cm。
- ③ 波浪(明日まで)：北海道5、東北・小笠原・中国3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。